

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷青陵高等学校		
実践者等	1年団	実践日	令和3年10月6日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	総合的な探究の時間（青陵探究）		
対象生徒（学年等）	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Google スライド、Jamboard		
実践の概要（ねらい等）	与えられたディベートのテーマについて言葉の定義が曖昧な部分を考え、Jamboardに入力し、クラス全体でシェアする。		
実践の内容			
1 本時の目標、タスクの確認			
2 例題1「ディベートをスムーズにスタートさせるには？」			
【個人で考える】	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたディベートのテーマについて言葉の定義が曖昧な部分を考え、Jamboardに入力させる。(5人1グループ) → Jamboard画面をクラス全体でシェアする。 		
【例示で学ぶ】	<ul style="list-style-type: none"> スライドで、言葉の定義づけが曖昧な部分の例を見て、定義付けのポイントを知る。→クリティカルリーディングの視点が活かされていることに気付かせる。 		
3 例題2「情報収集する際に、事実と意見を区別するには？」			
【個人で考える】	<ul style="list-style-type: none"> 文章「疑惑の△氏はこわばった表情で、記者を避けるように裏口からこそこそと出ていった。」を事実のみにする。 		
【例示で学ぶ】	<ul style="list-style-type: none"> スライドを使い、事実と意見・印象が入り混じった情報に普段から接しており、情報の発信者に安易に誘導されないように注意が必要であること、何が事実なのかを正確にとらえる時に、意見や印象と区別することが必要であることを理解させる。 		
4 例題3「ディベートで自分の意見を論理的に主張するには？」			
【個人で考える】	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の社説を読み、事実と意見に分解する。事実かどうか判断できないものがあるかもしれないので、事実であると自分が判断するものに線を引かせる。 		
【例示で学ぶ】	<ul style="list-style-type: none"> スライドで回答例を確認する。 		
5 これまでのメディアリテラシーの学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> これまで身につけた力、ディベートや課題研究に向けて、今後身に付けなければならない力を確認する。 		
6 まとめ、振り返りの記入			
参考となるHP等			

